

忘れたくない「綺麗」への憧れ

綺麗になる。それは、なりたいたい自分に近づくこと。
なりたいたい自分に近づけば自信もついて、きつと毎日が輝いていくはずです。

「綺麗」に憧れた原点は、10歳上の姉の存在が大きかったと思います。姉の背中を追いかけてきた私にとって、お化粧品やおしゃれを楽しんで綺麗になっていく彼女の姿はとても輝いて見えました。

女性ならではのオシャレを楽しみたい。

そんな想いからやがて下着メーカーの店舗スタッフとして働き始めました。
コミュニケーションを交わし、お客様と仲良くなりたい。そして少しでも豊かな時間を提供して
さしあげたい。

もともと人と話すのが好きだった私にとって、店舗スタッフはとても楽しいお仕事でした。

その後、結婚を機に退職。しばらくは専業主婦をしていました。しかし知人からのオフアートを
きっかけに、広告やCMのモデルとして活動を開始。やがて、テレビのレポーターやラジオのパ
ソナリティーも務めるようになっていきました。ですが、活動を続けていくうちに「カメラやマイク
に向かって話すより、お客様とお話しをしたい」と思うように。

そうして仕事を探し始めたとき、頭をよぎったのは「綺麗でいたい」という気持ちだったんです。

歳を重ねても「綺麗」への憧れを忘れたくない。そして、綺麗になりたいと願うお客様とも関わって
いきたい。そういった想いからエステ業界へ足を踏み入れました。

しかし、初めに入社したエステサロンは回転率を重視しており、お客様に深く寄りそうことができ
ませんでした。思い描いていた理想とのギャップに悩んでいたとき、なぜか捨てずにとっておいた
The Smile Lineのチラシが目に入ったんです。

気になって調べたHPの内容からは、女性が輝ける職場であることやお客様を大切にしていることが、
とてもよく伝わってきました。そうして求人に応募。晴れて、このサロンで働けることとなりました。

私自身、年齢を重ねるにつれて、いつしか本当の自分を出せなくなっていました。

でもここで働き始めてから、挑戦を全力でサポートしてくださる環境のおかげで、失いかけていた
輝きを取り戻せたと思っています。

お客様と関わるうえで大切にしているのは、おもてなしの心。

脱毛の施術はどうしても、何度か通っていただく必要がありますが、「めんどくさいな」ではなく
「次も楽しみ！」と思っていた良かったです。

何度もお会いし、お手入れを重ねて信頼関係を築いているからこそ、自然と他愛もない会話が弾み、
楽しい時間が始まっていくんですね。

そして今は、前職のサロンよりお客様との距離がグッと近く感じられています。綺麗になるのは
もちろんのこと、表情や雰囲気まで明るくなっていく様子を見れるのはやっぱり嬉しいものです。

私が変われたこの場所で、私のお手入れをきっかけにThe Smile Lineのファン、そして私のファン
となっていただけでしょう。

これからも、お客様一人ひとりに合わせたコミュニケーションを追求していきたいな、と思っています。



The Philosophy of Yumezukuri Tohoku

人生に『夢』づくり、ゆめ溢れる『人』づくり

Yuri Kasai